

# ともえ

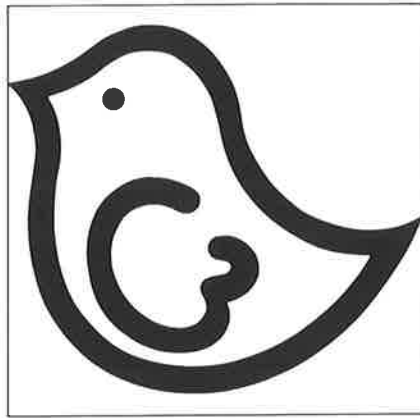
No. 31



■函館商工会議所報■  
**1983 5月号**

繁栄の  
進路をひらく  
商工会議所

# 全道一の11店舗 家具大型専門店チェーン



## ニトリ家具

**函館店** 函館市美原2丁目14 720坪  
☎(0138) 46-1171

**白石店** ●札幌市白石区南郷通4丁目北1番10号  
☎(011) 863-0155 680坪

**月寒店** ●札幌市豊平区月寒東1条17丁目  
☎(011) 854-5281 850坪

**新さっぽろ店** ●札幌市白石区厚別中央2条5丁目  
☎(011) 892-3335 800坪

**川沿店** ●札幌市南区川沿5条2丁目  
☎(011) 571-3922 800坪

**新道店** ●札幌市東区北34条東23丁目  
☎(011) 782-7395 680坪

**麻生店** ●札幌市北区新琴似7条1丁目  
☎(011) 751-0791 500坪

**手稲店** ●札幌市西区手稲富丘3条1丁目  
☎(011) 683-2801 600坪

**苫小牧店** ●苫小牧市北光町2丁目14番9  
☎(0144) 73-7141

**ニトリエオカ大町店** ●旭川市大町2条8丁目  
☎(0166) 52-5050 1,000坪

**ニトリエオカ二条店** ●旭川市2条通り11丁目右5号  
☎(0166) 26-2238 400坪

# ともえ

1983 5 No.31

## 卷頭言

「根まわし」とは「あることを行う場合に、事前に周囲の各方面に話しをつけておく行為」つまり高度の説得のテクニックのことです。

上智大の渡部教授は「戦乱のビジネス社会と根回し術」という随筆を書いておられますが、「根回し」は社会の潤滑油であり、実力を生かす手段であり、老舗の経営者は「根回し」の名人であるといっております。

この「根回し」に相当する行為は国を問わず、政治や外交の分野では世界共通に行われており、五月末のウイリアムズバークのサミットに対する事前各国経済関係会議などもその一例です。

「根回し」本来の意味は「実りをよくしたり、移植のため

木の回りを掘って、一部の根を切り落すこと」だと言いますが、私はビジネス社会における「根回し」もこの木の移植のように、自分の目的を無用の摩擦なしに達成するための、不可欠の事前工作であると思います。

いわば「根回し」とは「タテマエとホンネをうめるための民主的な手段」なのです。

社長職の最大の責務の一つは、会社と社会の「根回し」役にあると思います。

社長が「根回し」をする際の最大ポイントは、会社と社会の関わり、自分の置かれている環境を正確に把握することにあると思います。

「情報力」のある「根回し」が大切です。

## 目次

☑ 卷頭言	1
☑ 会議所だより	2~5
☑ 調査レポート	6~11
☑ アドバイスコナー	12~13
☑ 寄稿文	14~15
☑ ご存じですか	16~17
☑ 制度紹介	18
☑ 事務局日誌(4月)・雑感	19
☑ ティータイム	20~21
☑ 告知板	22





# 会議所 だより

## 湾岸道路工事発注は地元へ

### 本所・市が道開発局に陳情

〔函館港幹線臨港道路（湾岸道路）  
工事が、昭和六十五年完成（予定）  
を目的に総工費二百四十億円の大規模プロジェクトで本年度から施行されました。本年度は五億円の予算で中央ふ頭取付線工事を道開発建設局が担当施行することになっております。かかることから、去る四月六日、本所村瀬副会頭、市諏藤助役、同野呂港湾部長が札幌に向き、館谷道開発建設局長などへ同工事の施行を地元建設業界に発注されるよう陳情しました。〕

既に本所では、重点目標に景気対策を打ち出し、公共事業等の早期発注と地元業界への優先発注の促進を図っておりますが、本件についても民間需要の低下、行財政改革の影響による公共事業投資の削減の傾向等により、地元建設関連業界は大変な苦境に立たされている現状から、同工事が単なる港湾機能の強化であるばかりでなく、波及効果として地域

の不況対策、雇用対策に好影響を持たらすこと、また既に中央ふ頭立体橋工事も地元業界に市から発注されている実績もあり、何ら技術的に不安はないことなど、地元の事情を説明しました。今後は関連業界のアップローチが待たれ、その成果が期待されます。

#### 国立函館複合大学 設置実現方を陳情

去る四月十八日、川田会頭（国立函館大学誘致促進期成会副会長）はじめ関係者五人が出札し、北大学長有江幹男氏（大学設置審議会計画分科会委員）に対して国立函館複合大学設置実現方について陳情しました。これは、現在小学四年の生徒が昭和六十七年に満十八歳となり、大学進学対象人口が二百六万人のピーク（七十年以降百七十万）人（推移予測）に達することをふまえ、文部省では昭和五十六年度から長期高等教育計画を立て、大学が大都市へ過度

に集中する傾向や、地域による専門分野構成の不揃い等地域格差の是正を進めており、さらに昭和六十一年度から新長期高等教育整備計画策定の構想で、より一層の質の充実を図ることにしています。当地域もそれに沿った設置構想をもち、道教育大函館分校を母体として社会系三学部（教育学部・社会学部・経済学部）の構成される複合大学の設置の実現を図ろうとするものです。

本所では、昨年議員改選に伴い文教施設誘致促進委員会も再編成されたと同時に、同問題について改めて経済界の対応、市民運動への展開等抜本的に見直しを行い、「大学と地域産業」の係りを文部省方針の大学設置構想とどのように対応して行くかについて調査研究することにしていきます。なお北大有江学長は、我々地元の大学設置の熱意を十分理解していただきましたが、今後の都市の性格づけ（都市づくり）を鮮明にすべき旨アドバイスを受けました。

また当日は、辻前会頭（道立美術館誘致促進期成会会長）も同行し、道に対し誘致実現について併せて陳情しました。



「街並み保存」について講演する今田会長

# 西部地区の街並み保存を

## 対話シリーズ講演会開く

観光サービス部会

前号で報告の通り、観光サービス部会では、対話シリーズの第三弾として、函館の歴史的風土を守る会の今田光夫会長を招き、去る四月二十六日、本所会議室で「街並み保存と観光」をテーマとして講演会を開催しました。その概要は次の通りです。

函館は、国際港として一番早く開けたところであり、外国文化との古い交わりの建造物が多くある。

特に、西部地区の街並みは、自然景観に恵まれ、全国的にもまれな歴史豊かな数多くの和洋風建築物と、防火帯として設けられた坂道・石垣などの特徴を持っており、函館の景観をなしている。しかし、これら由緒ある建造物等は、老朽化と相俟って防寒性、そして居住性から建て替えられつつある。

当市の特異性を考えれば、これらの建造物を中心とした景観の維持を配慮し、地域整備方式の確立と市民のコンセンサスによって、住みよい、誇れる街づくりをし、市民の文化遺産として後世に継承していかねばならない。

そして、これらの街づくりが最大の観光資源となるため、観光を中間産業としてとらえ、文化的建造物

の活用、文化的遺産の生かした使い方によって歴史的観光を図るべきである。

なお、当部会では、街並み保存について今後、積極的に取り組んでいくことにしております。

また、当日の協議事項である(一)、青函トンネル開業記念大博覧会の開催については、後日、当部会と青函

## 東北・北海道発展に主導的役割

### 青函地域の重要性を認識

青函トンネル  
対策特別委

第三回青函トンネル対策特別委員会が去る四月十九日午後二時から本所議員室で開催されました。

同日の委員会では、トンネル開通による波及効果を調査する前段階として、道南圏(渡島・松山)及び東北三県の現状、北海道東北開発公庫が行った「北海道東北二十一世紀展望中間報告書」の抜粋が資料として

供されましたが、同報告書の中で、東北北海道は立地条件・発展軸の共通性、経済圏としてのまとまりから七地域に分けられており、特に青函地域は「今後、東北・北海道が一体

トンネル対策特別委員会の合同会議を行い素案作りを検討することになり、(二)、都市景観賞については、全国で十六程度の都市が景観賞を設定しており、当市でも函館らしい都市景観を守り、育て、創りあげるため今後、函館市とも協議し検討することになりました。

となつて発展を目ざしていく場合のシンボルゾーンとして主導的役割を持つている」と指摘しており、青函テクノベルト等各種のモデル構想が盛り込まれています。

また、今月二十五日には「地域ビジョン報告会」として北東開発公庫の担当者が来函し、本所議員懇談会の席上説明会が催される予定となっています。

また、青函博覧会構想についても種々具体的な意見交換が行われ、今後観光サービス部会と連携を取りながら進めて行くことになりました。

# 「観光函館」のイメージアップに

## 土産品の審査会・推奨会開く

観光客に、より良いイメージを持ち帰ってもらおうと、本格的な観光シーズンを前に郷土土産品の審査会並びに推奨会が去る四月二十二日本所で開催されました。

審査会は、過大包装や不当表示など「観光函館」のイメージダウンを招く土産品をチェックするため、みなみ北海道地区観光土産品公正取引



入 賞 の 各 商 品

協議会が毎年この時期に行っているものです。今回は農水産物四十七品菓子十八品の計六十五品が出品され消費者協会、公正取引委員会、保健所など各方面の専門家が法規の遵守

はもとより、観光客の視点で厳正に審査した結果、「改善を要する」として指導を受けたものは農水産物一品にとどまったものの、表示事項などに「改善の余地がある」として農水産物十三品、菓子八品が指摘された。

なお、協議会ではこれらの商品のうち、合格あるいは改善されたものに対し「優良土産品認定シール」の貼付を認めておりますので、このシールの貼ってある商品は観光客に安心して奨められる土産品といえます。

また、引き続き行われた推奨会は、前記協議会、函館市、本所の三者から成る函館優良土産品推奨実行委員

会が主催するもので、今年で二十八回目を迎えました。前記審査会で合格した商品に対し、更に味覚、郷土色、価格、包装デザインなどが吟味され、特に優秀な別表の十一品に各賞が授与されました。これらの商品は代表的な郷土土産品として「観光函館」のイメージアップに大いに役立ってくれるものと期待しています。

第28回函館優良土産品推奨会入賞品 (昭和58年4月22日)

	菓子の部	農水産の部
函館市長賞	ちびい か 餅不二屋本店	ペリーのおくりもの 餅第一食品
函館商工会議所賞	にじます甘から煮 餅渡辺商店	黒船サブレ 餅美鈴商事
みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会賞	粉ふきいも一代 みなみ食品(有)	北の四季 餅不二屋本店
奨励賞	北の味っ子漬 みなみ食品(有) えぞからすみ 餅不二屋本店 真イカー一本漬 餅長浜谷商店	エキゾチックロマン はこだて 餅不二屋本店 五稜郭最中堂 餅末廣

喜らしにいつも新らしい風を



さいかデパート

2階・6階

天小松

☎23-3111代

# 鈴木さん (苫西高) みごと道南一に

## そろばんの祭典百七十人が競う

国民・小学生珠算  
道南地区大会

「そろばん日本一」の座をめぐり毎年熱戦が展開される〃そろばんの祭典〃第三十七回国民珠算競技大会が来たる五月二十九日東京都において開催されます。

これに先だち、去る四月二十四日午前九時から函館会場(本所)と苫小牧会場において道南地区予選が、また第十五回全国小学生珠算競技大会が同時に開催されました。

当日は、国民大会の部四十一人、小学生大会の部百二十九人の計百七十人の選手が参加し、乗算、除算、



中島理事から賞を受ける入賞者

見取暗算、乗暗算、除暗算、見取算、伝票算(国民大会のみ)の七種目に日頃の練習の成果を発揮すべく腕を競い合いました。

競技の結果、「国民珠算競技大会そろばん道南一」には鈴木真弓さん(苫小牧西高)が二年連続の栄誉に輝き、日本商工会議所から優勝杯、賞状並びに副賞が授与されました。また全国小学生珠算競技大会道南

第41回全道珠算競技大会が来たる9月18日函館市民体育館を会場に開催されます。

本大会は珠算の振興と技能の向上を目的として毎年道内各地区の予選を勝ち抜いてきた約500人の選手により競技が行われるもので、最優秀選手には「そろばん北海道一」の栄誉が与えられます。

当地区では7月17日に函館地区珠算競技大会を行い、その中の上位入賞者に対して全道大会への出場資格が与えられます。

地区大会開催要領は次の通りです。

- 1. 日 時 昭和58年7月17日  
午前9時から
- 1. 場 所 函館商工会議所会議室
- 1. 申込み 6月18日(土)正午まで  
参加料(500円)を添えて  
当所振興課まで

会場一位には日沼祐子さん(函館上湯川小)がうれしい初の栄誉に輝きました。

函館会場分入賞者は次の通り

○国民珠算競技大会道南地区予選

- 二位 浪岡昭夫(浪岡珠算塾)
- 三位 小野慶子(深堀中学校)

○全国小学生珠算競技大会道南会場

- 一位 日沼祐子(上湯川小学校)
  - 二位 渡辺英男(青柳小学校)
  - 〃 岡田隆幸(深堀小学校)
  - 三位 小野貴子(駒場小学校)
  - 〃 吉田康子(谷地頭小学校)
  - 〃 沢田広明(駒場小学校)
- (敬称略)

室内装飾工事全般・壁装クロス・クッションフロア  
カーテン・ジュタン・設計・施工・販売

# ナシキ室内装飾

函館市川原町7番1号 ☎53-0312

近月ではかなり高い伸びを示した。一方、耐久消費財は、乗用車新車登録台数（3月中）が小型車の落込みを主因に昨年9月以来6か月振りに前年を下回った（2.5%減）が、前年が高水準であったことを考慮すればなお底固い動き。また、家電製品も新商品のパソコン等の売行き好調に加えVTRが堅調を続持しているため、総体としてかなりの売上げ増をみた。

3. 金融事情（3月中および57年度中）

- 管内金融機関の実質預金は、一般預金が法人流動性預金中心に大幅増加を示したため、公金預金、金融機関預金が前年を下回ったにもかかわらず、月中増加額は289億円と前年（同258億円）を1割強上回った。  
また、57年度中でみると、法人預金はほぼ前年度並みの増加を示したものの、個人預金が所得の伸びみや金利選好の高まりを映じた高利回り商品へのシフト等から伸悩んだため、年度間増加額は403億円と前年度（同552億円）を3割弱下回った。
- 一方貸出は、地方公共団体向けは前年を下回ったものの、建設関連の着業資金を中心に一般企業向けがかなりの増加を示したため、月中増加額は210億円とほぼ前年（同205億円）並み。

57年度中についてみると、企業需資は総じて着き気味に推移したが、一部で大型設備資金がみられたことに加え、年度末にかけては建設関連の着業資金等季節資金が幾分盛上がりを見せ、また一部卸・小売等で売上げ不振に伴う後向き資金も増加を示したことなどから、結局年度間増加額は358億円と前年度（同316億円）を1割強上回った。

- この間、管内銀行の貸出約定平均金利は月中-0.041%と前月を上回る低下（57年度中-0.229%、55年8月以降の累計-1.272%）。
- 銀行券は、月初の還流が順調であったことを主因に2億円の還収超となった（前年は7億円の発行超）。なお、57年度中では154億円の還収超（前年度同190億円）。
- 財政収支をみると、租税や保険等の受入れが比較的順調であったものの、地方公共団体からの運用部や簡保貸付金の回収が前年に比べかなり少なかったため、月中受超額は47億円と前年（同65億円）を下回った。  
なお、57年度中では、租税や保険等の受入れが増加したほか、運用部や簡保の貸付けが前年度をかなり下回ったことなどから、年度間払超額は235億円と前年度（同350億円）を3割方下回った。 以上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高（10店） 昭和58年4月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年比(%)
衣 料 品	2,773,764	85.7	105.2
身 回 品	488,135	77.5	101.1
雑 貨	733,149	89.3	102.7
家 庭 用 品	744,616	95.4	99.7
食 料 品	1,638,710	92.3	103.7
食 堂 ・ 喫 茶	184,342	83.2	96.4
サ ー ビ ス	60,889	89.0	105.4
そ の 他	235,683	135.4	106.6
総 額	6,859,288	89.0	103.5

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパーズプラザ湯の川店の各店をいう。テオー小笠原については食料品を扱っていない。



3月

昭和58年4月27日発表

## 金融経済概況

## 日本銀行函館支店

## 1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、実体面では漁網、製缶機械が受注増等を背景に高水準の生産を続けているほか、段ボール箱も青果物ケースの需要増を主因に高操業を維持。また、肥料は春耕用需要の早まりもあってやや操業度を上げている。この間、合板機械では受注環境は厳しさを増しているものの、現状はなお順調な操業を続行。これに対し、セメント、生コン等建設資材は末端実需不振から減産を継続しているほか、珍味加工も春需が盛上がり欠き、前年を下回る生産、出荷を余儀なくされている。なお、造船は新造船の受注環境が依然厳しく、漸次操業度は低下している。

一方、一次産業面では、ニュージーランドイカ漁は全体では出漁増もあって前年を上回る水揚げとなっているが、1隻当りでは逆に下回っており、魚価が下落していることもあって、漁撈筋の採算は厳しい模様。また、日本海マス漁も漁模様が今ひとつ冴えず出足はやや低調。

個人消費面をみると、大型小売店の売上げは、春物衣料の売行きが順調であったことなどから前年を上回る伸びを示したほか、耐久消費財も乗用車販売が久方振りに前年を下回ったものなお高水準を維持、また家電製品もVTR、新製品を中心に順調な荷動きをみせるなど、総じて底固い動き。

○この間、原油値下がりに伴う当地企業への影響を窺うと、石油多消費業種である漁業、飼料、海運等ではかなりのコスト低減効果を見込んでいるほか、自動車販売業者でもガソリン価格低下による販売増を期待しているが、その他多くの業種では、当面さしたる効果は見込み難いとの受止め方。

○金融面をみると、管内金融機関の実質預金は、法人流動性預金の増加を主因に前年を

上回った。一方貸出は、地方公共団体向けが前年を下回ったものの、一般企業向けが建設関連等中心にかなり増加したため、全体ではほぼ前年並みの増加。なお、管内銀行の貸出約定平均金利は期末預金嵩上げを狙った預貸併進の動きがみられたことから、前月を上回る低下となった。

## 2. 産業界

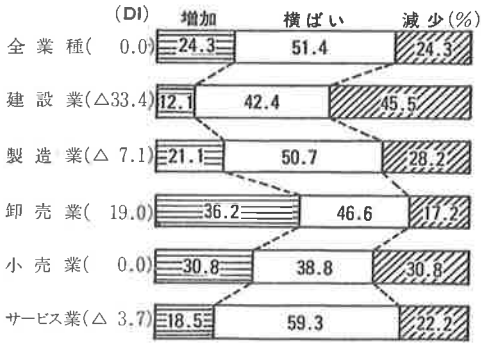
○实体经济の動向を主要産業別にみると、製造業では、漁網がサケ・マス、イカ流し網の受注増等を背景に、製缶機械は既往受注残の消化のため、それぞれ高水準の生産を続けているほか、段ボール箱も春野菜向け青果物ケースの需要増を主因に高操業を継続している。また、肥料も農家筋の購買態度にはなお慎重さが窺われるものの、融雪が早く春耕用需要が前年に比べ早まっていることもあって、3月後半以降操業度をやや上げている。なお、合板機械は現状順調な操業を続行しているが、受注環境は一段と厳しさを増してきている。

一方、セメント、生コン等建設資材は末端実需不振から減産を継続しているほか、珍味加工も春の行楽需要が盛上がり欠き、総じて前年を下回る生産、出荷を余儀なくされている。なお、造船は新造船の受注環境が依然厳しく、漸次操業度は低下しており、ここへきて工員の一部にアイドルが発生したため、教育訓練を実施している。

○一次産業面をみると、ニュージーランドイカ漁は出漁船が増えたこともあって、水揚げ量は前年を上回っているが、昨年に比べ1隻当りの水揚げ量は下回っているうえ魚価も下落しているところから、漁撈筋の採算は厳しい模様。一方、日本海マス漁は、漁模様が今ひとつ冴えず出足はやや低調。この間、本年の母船式サケ・マス漁は、日ソ漁業交渉の結果、6年連続同量の割当量を確保したことから関係筋では一樣に安堵の表情をみせているが、漁業協力費の負担増等による採算悪化を懸念する向きも多い。

○個人消費面をみると、大型小売店では春物衣料品の売行きが順調であったほか、食料品、家庭用品等も進入学ギフト関連商品中心にまずまずの売行きを示したため、3月中の売上高(10か店)は前年比7.5%増と最

図一六 来期の売上見通し(対前年同期比)



建設業では、今期比DI△20.6、前年同期比△33.4となっており、依然として業績の悪化が予想される。

製造業では、今期比DI12.8と増加基調で推移され、その中でも特に、水産加工関係やそれ以外の食料品、建設資材関係は大幅にDIがプラスを示している。また、前年同期比では、DI△7.1となっており、やや業績悪化を予想している。特に水産加工関係や造船、鉄工関係の業績悪化が予想される。

卸売業では、今期比DI26.3、前年同期比DI19.0となっており、大幅に増加企業が上回っている。特に、飲食料品関係はDIのプラス幅が拡大している。また、今まで業績が悪化していた繊維関係は今期比、前年同期比ともDIが25.0と増加を予想している。

小売業では、今期比DI△18.4、前年同期比DIがゼロを示し、依然として業績は停滞基調で推移される。しかし、その中でも、自動車販売業は引き続き好転基調で推移される。

また、今まで業績不振を訴えていた衣服・

身の回り品関係や各種商品関係は増加企業が大幅に上回っており、増加基調を予想している。

サービス業では、季節的要因により今期比18.6と増加を予想しているものの、前年同期比でDI△3.7となっており前年並みに推移される。

### 3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、今期に比べ「好転」とする企業13.8%に対し、「不変」企業72.0%、「悪化」とする企業14.2%でDI△0.4となっており今期並みに推移される。これを業種別でみると卸売業DI5.4、小売業DI6.2、サービス業DI3.9とプラスを示し好転を予想している。また建設業DI△8.6、製造業DI△9.8となっているがほぼ今期並みに推移される。

### 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり、「売上・受注の不振」をあげる企業が多く全業種で45.7%を占め前期より3.7%増加している。この「売上・受注の不振」を業種別でみると、建設業が56.0%、製造業50.0%、卸売業54.4%、小売業36.0%、サービス業29.0%となっている。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「工事価格の値下り」17.6%、「景気の見通し難」11.8%、製造業では「人件費等経費の増加」10.0%、卸売業では「純利益の減少」12.3%、小売業でも「純利益の減少」22.5%サービス業では「客足の減少」、「同業者の競合」がそれぞれ16.7%を挙げている。

よみがえる老舗の味覚。ニューパックで新登場。



◆煮豆・佃煮・珍味・惣菜・冷凍食品◆

株式会社 **アサヒ**

北海道支社

函館市日乃出町24-12 ☎52-0186

東京・函館・札幌・小樽・名古屋・大阪・北九州

は、小売業以外の業種では半数以上の企業が減少を訴えており、前年同期比でも製造業、サービス業が同様傾向にある。

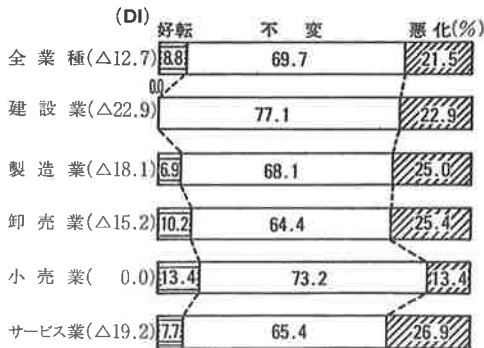
しかし、採算が悪化している中で、自動車販売関係が前期比D I 33.4、前年同期比D I 21.5と好転しており、また、漁網関係も前期比が16.6とプラスを示している。

#### 4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種で見ると、前期に比べ「好転」した企業8.8%に対し、「悪化」した企業21.5%でD I  $\Delta$ 12.7となっており、悪化基調に変わりないが、「不変」企業が約70%でありほぼ前期並みに推移した。

業種別にみると、建設業、製造業、サービス業においてマイナス幅を拡大し悪化基調にある。

図-4 今期の資金繰りについて(対前期比)



#### 来期の見通し(58年4月~6月)

##### 1. 業況について

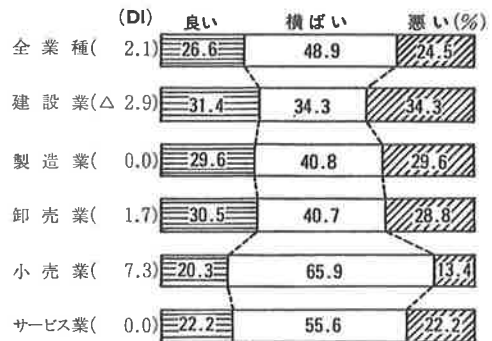
函館地域の来期業況見通しを全業種で見ると、今期に比べ「好転」とみる企業26.6%に対し、「横ばい」48.9%、「悪化」する

とみる企業が24.5%であり、D I が2.1と若干ではあるがプラスを示している。

業種別にみると、小売業、卸売業においてD I が若干プラスを示している。反面、建設業ではD I  $\Delta$ 2.9となっているが今期並みに推移される見通しである。

このように、全体的には景気回復の直接的インパクトが見当らず、依然不透明な状態が続くものと思われる。

図-5 来期の業況見通し(対前期比)



##### 2. 売上額(生産・工事完成額)について

来期の売上見通しを全業種で見ると、今期に比べ「増加」とみる企業35.1%に対し「横ばい」企業39.2%、「減少」とみる企業25.7%でD I 9.4と増加基調を予想している。また前年同期比では増加企業と減少企業の割合が24.3%と同じであり、D I がゼロを示し前年並みに推移される。このように全体的には今期以上の落ち込みはないものとみているが企業のマインドは慎重になっている。

これを業種で見ると

## 食卓のお供に三共の漬物

- 営業品目
- 沢庵漬・北海一G一本漬
  - ハッパ漬(キュウリ正油漬)
  - 特産にしん漬
  - 名産赤蕪千枚漬
  - 各種漬物製造
  - 全国名産漬物

ヤマシン(株)  
野津漬物(株)  
東海漬物(株)  
天長食品(株)

特約店

## 共 三共漬物株式会社

本社・第一工場/函館市新川町4番13号  
☎22-5835 ☎23-0532  
第二工場/函館市桔梗町238番地  
☎46-3559  
直売所/朝市 ☎26-8755  
中央市場 ☎49-4327  
ホリタショップ・ズラザ内

「横ばい」企業39.5%、「減少」企業35.4%でD I  $\Delta$ 10.3となっており、前年より減少企業が増している。

業種でD I がプラスを示しているのは、前年同様卸売業だけであり、反面、減少が著しいのはサービス業、建設業、製造業である。

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比でD I  $\Delta$ 44.1前年同期比D I  $\Delta$ 24.2となっており、業績悪化は一段と増している。

このように建設業は、本格的な積雪期という本道の特殊事情もあり、公共事業が第3・四半期ではほぼ発注済みとあって手持ち工事量の減少、さらに民需の停滞による過当競争等により全く不振状態におかれている。

【製造業】

今期の生産額は、前期比D I  $\Delta$ 36.1、前年同期比D I  $\Delta$ 22.9となっており、業績は悪化している。しかし、業種によってバラツキをみせており、前期比では、漁網関係がD I 42.8と大幅に好転している。また、造船・鉄工関係は、D I  $\Delta$ 5.9で若干マイナスを示しているが、ほぼ前期並みに推移しており、それ以外の業種はD I が大幅にマイナスを示し業績が悪化している。

これを前年同期比でみると、水産加工以外の食料品関係がD I 12.5を示し業績を伸ばしているが、それ以外はD I が15~29.5のマイナスを示している。

【卸売業】

今期の売上額は、前期まで増加基調で推移してきたが、ここにきて前期比D I が $\Delta$ 26.7と大きくマイナスを示し、前年同期比ではD I が8.7とプラスを示したものの足踏みの状態となった。

業種別にみると、前期まで比較的堅調に推移していた飲食料品関係や医薬品・化粧品関係は、前期に比べてD I がそれぞれ $\Delta$ 33.4、 $\Delta$ 25.0と大幅にマイナスを示しているが、前年同期比ではD I がそれぞれ25.0、42.9とプラスを示している。

また、機械・器具関係は、前期及び前年並みに推移。反面、繊維関係では、前期比、前年同期比とも増加企業がなく依然として業績

悪化が続いており、建設資材関係も依然として低迷状態にある。

【小売業】

今期の売上額は、前期比D I  $\Delta$ 18.4、前年同期比D I がゼロを示し、依然として停滞基調が続いている。

業種別でみると、前期比では、自動車販売関係がD I 59.9と前期に引き続き業績は好転しているが、それ以外は、D I がすべてマイナスを示している。

また、前年同期比で業績が好転しているのは、自動車販売関係D I 50.1、そして前期まで低迷状態にあった衣服・身の回り品関係がD I 16.7とプラスを示した。反面、業績が悪化しているのは、飲食料品関係、燃料関係である。

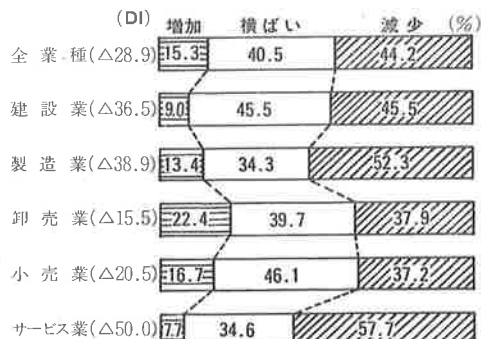
【サービス業】

今期の売上額は、前期比D I  $\Delta$ 18.5、前年同期比D I  $\Delta$ 32.0となっており悪化状態にある。特に、旅館関係は、前期比D I  $\Delta$ 26.7、前年同期比D I  $\Delta$ 38.6と減少企業割合が大きく依然として業績悪化が続いている。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」企業11.4%に対し、「横ばい」企業38.2%、「減少」企業50.4%でありD I  $\Delta$ 39.0、前年同期比でも「減少」企業44.2%が「増加」企業15.3%を上回っておりD I  $\Delta$ 28.9を示している。

図一 3 今期の純利益について (対前年同期比)



このように、採算は売上不振の影響が大きくあらわれマイナス幅を拡大し悪化度を深めている。これを業種別でみると、前期比で

経済の窓

景気動向調査

(昭和57年度 第4・四半期)

昭和57年度第4・四半期(昭和58年1月～3月)の景気動向調査がまとまりましたので概況をお知らせします。

なお、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	390社	292社	74.9%
建設業	50	37	74.0
製造業	100	76	76.0
卸売業	80	61	76.3
小売業	120	89	74.2
サービス業	40	29	72.5

(注) 本調査結果の中でDIとある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値を示します。

今期(58年1月～3月)の実績

1. 業況について

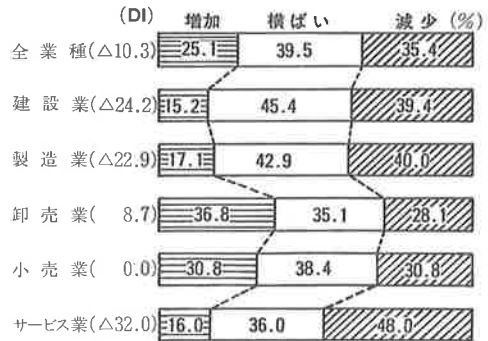
函館地域企業の今期業況を全業種で見ると前期に比べ「良い」とする企業17.1%に対し「横ばい」企業41.1%、「悪い」とする企業41.8%でDI△24.7となっており、冬場の本格的な不需要期入りで悪化の度合を深めている。

これを業種別で見ると、DIが全てマイナスを示しており、特に、好転基調で推移してきた卸売業や前期比較的堅調さを示していた製造業において大きく悪化している。また、建設業では、本格的な降雪期を迎えたことにより57.1%の企業が悪化を訴えている。

小売業、サービス業においては、前期よりDIのマイナス幅が若干下回っているが依然として停滞基調が続いている。

このように、今期の函館地域企業をめぐる経営環境は、依然個人消費が低迷している中で、本格的な降雪期を迎え悪化の度を加え、前期より一段と厳しさを増している。

図-1 今期の業況について(対前期比)



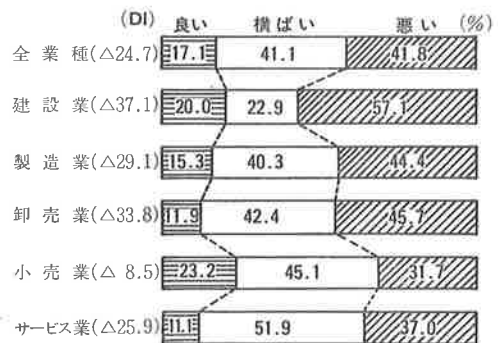
2. 売上額(生産・工事完成額)の状況

今期の売上額を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業19.3%に対し、「横ばい」企業33.5%、「減少」企業47.2%でDIが△27.9を示しマイナス幅が拡大した。

これを業種別にみると、全ての業種で減少企業が増加企業を上回りDIがマイナスを示し、特に建設業、製造業では、半数以上の企業が売上減少を訴えている。また、卸売業、小売業でも前回に比べ一転し大幅なマイナスとなっている。

これは、冬場の本格的な不需要期入りで個人消費の伸び悩み、需要低迷による生産活動の停滞を一層如実に示している。

図-2 今期の売上額について(対前年同期比)



次に、今期の売上額を前年同期比で見ると全業種では、「増加」企業25.1%に対し、

# ピントピント

榮 繁

## 戦国武将の 生きざまから 戦略の経営 何を学ぶのか

(2)

安心され、同輩からは信頼され、年下の人たちからは尊敬される—この三位一体が、あなたの年令を越えて人の意気を吸いよせる魅力となるのです。徳性の欠陥は、この人間的魅力を深いところまで削ぎおとすのです。

**その四 経営者には交渉力と外交力が必要です**

戦国時代に限らず、何時の時代でも会見は真剣勝負です。初会見は双方の世界観が切り結ぶ一瞬です。お互いに全力を集中して観察しあう息づまるような機会です。江戸城開城にみせた西郷と勝の会見。日露戦争での乃木とステッセル、勝負の世界における武蔵と小次郎など枚挙にいとまありません。

美濃の道三と信長の会見も興味津々のロマンに満ちた事例の一つです。時は天文十八年。中立ゾーンにある美濃と尾張の境にある富田聖徳寺。「自分の目で器量を見定めてや

ろう」と気負う道三。「意図を見ずかされないのが大将の心得だ」と信長。信長公記によれば道三は会見後、信長と一語に轡を並べて二十町もゆき信長を見送っています。これは信長に惚れた証拠です。

信長の外交が、渉外力の勝利で、道三は敗北しましたが、それまでの道三の人間観は骨肉の情とか、俗情の判断基準を越える冷徹、合理のマジが貫いています。その道三が、信長と出会うことによって自分の先を歩いている青年を発見したのです。道三の目は高かった。人材を見ぬくのは、やはり人材です。最後に道三が合戦に出陣するとき、幼い実子には出家を命じ「美濃の国一国を信長に進呈申す」と書き送っています。梟雄道三をゴックンと飲み込んだ信長のロマンは交渉力、人に接する態度の好サンプルといえます。

**その五 経営者には情報能力が必要**

山路愛山さんは「独り家康に至りては何処までも質素にして、却て自ら其光沢を消すに力めたり」とあります。家康の企業PRはいぶし銀の

**その三 経営者には筋の通った言動が大切です**

今日ほど、徳性の問題が大きくなり、ローズアップされた時代はありません。リーダーたるものはやはり、日々の言動についても、慎重かつ行き届いた感覚が要求されます。

この種の小さなキズの露呈で、リーダーはその権威をおとし、人気をおとすものです。

ここでいう人気とは、年長者から

## 明日をつくる＝函館バス・グループ

- 函館バス株式会社 函館市高盛町10-1 ☎54-4471
- 函館バス興産株式会社……函館市日乃出町17-22 ☎54-1789  
(観光センター……函館市松風町12-2 ☎26-6856)
- 函館日東タイヤ株式会社……函館市高盛町10-5 ☎53-9411
- 株式会社はこばす商事……函館市松風町12-1 ☎26-7021